

豊田PCB廃棄物処理事業だより(No.27)

平成17年11月21日に、日本環境安全事業株式会社(JESCO)の豊田PCB廃棄物処理施設で発生したPCB漏洩事故について、操業を停止し事故原因の究明とその再発防止、施設全体の安全総点検を行いました。そして、その後の試運転により施設全体の安全性と健全性を確認し、その評価を行いました。その間、職員の教育と訓練を重ね、ヒューマンエラー防止を併せて実施しました。

6月15日、「豊田ポリ塩化ビフェニル廃棄物処理事業に係る安全性と環境保全の確保に関する協定書」に基づき、PCB漏洩事故対策の報告と、処理施設の運転再開の承認申請を豊田市に提出させていただきました。

なお、事故対策にあたっては、PCB廃棄物処理事業検討委員会豊田事業部会及び豊田市PCB処理安全監視委員会に報告し、その意見を反映して進めるとともに、JESCOを監督する環境省の指導を得ながら一つずつ確実に実施しました。

運転再開後においても環境省の指導監督のもと、職員一同二度とこのような事故を起こさないことを肝に銘じ、万全の体制で安全な運転・管理を実施します。

最後になりますが、近隣住民の皆さま、豊田市、愛知県をはじめ多くの方々に多大なご迷惑をおかけし、心からお詫び申し上げます。また、多くのご助言・ご指導をいただきましたことを、書面をお借りし厚く御礼申し上げます。

日本環境安全事業株式会社
代表取締役社長 宮坂 真也

【参考アドレス】 報告書へのリンク：<http://www.jesconet.co.jp/facility/toyota/pdf/toyotajikofinal.pdf>

1. 試運転結果報告について

5月17日から6月7日まで、事故対策と安全総点検により改善した設備を含め、施設全体の安全性・健全性を確認する試運転を実施し、施設全体が適正に稼働し、設備が安全であることを確認しました。

- ① 前処理設備は、設備の安全性・運転性ともほとんどの工程で良好であることを確認しました。また、さらなる改善措置を実施し、設備全体が安全であることを確認しました。
- ② 液処理設備は、全ての処理で分解完了基準をクリアし設備の安全性と健全性を確認しました。また処理残渣も全て卒業判定基準を満足しており、設備全体が適正に稼働し安全であることを確認しました。
- ③ 安全総点検での経過観察項目(フランジずれ、配管のゆるみを是正した箇所)は、漏れ・しみもなく良好で安全性を確認しました。
- ④ 施設内の負圧管理は、試運転の初期において一部隣接した管理区域間で負圧の逆転が認められましたが、その対策を実施し、適正化しました。その後は負圧の逆転もなく適正状態であることを確認しました。
- ⑤ 環境保全性能(排気、排水、騒音・振動、悪臭)は、全ての項目について協定値、維持管理値、規制値を満足していることを確認しました。
- ⑥ 実機運転(OJT)による教育は、試運転による設備の立ち上げ・立ち下げなどの非常作業、各処理工程の定常作業、日常点検作業など熟練作業員が新規作業員にマンツーマンで教育しました。

今後も、日常点検はもとより定期的に施設の点検、確認を行い、施設の安全性・健全性を維持していきます。また、安全意識・技術レベルの維持向上を図るため、教育訓練計画を定め、目標を設定し日常的に安全管理活動を実施します。



中央制御の実機教育状況



解体作業の実機教育状況

2. 豊田事業部会の開催について



豊田事業部会

6月13日(火)にJESCOのPCB廃棄物処理事業検討委員会豊田事業部会(主査:田中勝岡山大学教授)を開催し、試運転による施設の安全性と健全性の確認を含め事故対策の評価・検証について検討しました。

委員から、①日常的・定期的な施設点検を継続し、健全性・安全性の高い施設を維持していくこと、②住民への情報開示はもちろん、JESCO及び運転管理会社の危機管理意識などリスクコミュニケーションを重視すること、等の意見をいただきました。

これらの意見を事故対策報告書に反映し、豊田市に報告しました。

3. 豊田市PCB処理安全監視委員会に報告

平成18年度第1回豊田市PCB処理安全監視委員会(委員長:藤江幸一豊橋技術科学大学教授)が、6月22日(木)に豊田PCB廃棄物処理施設において開催されました。

始めに、豊田市から処理施設への立入調査21回を含め、PCB漏洩事故後から現在までに、市が実施した対応について説明がありました。

続いてJESCOから、事故対策及び安全総点検、試運転の結果について説明しました。その後、委員や県、市の方々に、事故対策として実施した設備の改善状況を確認していただきました。

委員から、①今回の事故は初歩的なミスが原因。JESCO、運転管理会社、建設JVと三位一体で緊張感をもって安全に処理を進め、国家事業の使命を果たすこと、②事故原因や安全総点検で確認された不具合は正箇所を要因別に分類・整理し、日常点検や定期点検に活用し、安全な設備管理を行うこと、③緊急時の迅速な地元対応と、市民にわかりやすい情報公開(事業だより・ホームページ)を継続すること等のご意見をいただきました。

委員のご意見を生かし、二度と事故を起こさないよう安全・確実に実施していきます。



安全監視委員会



監視委員による設備改善確認

4. 地震訓練の実施について

6月28日(水)に豊田PCB廃棄物処理施設において、地震訓練を実施しました。

訓練は、80ガル(震度5相当)の地震が発生し、全設備が非常停止したという想定で行いました。①関連機関への緊急連絡の実施確認、②見学者への避難誘導及び職員の避難行動の実施確認、③防災対策本部と現地指揮本部の設置、④防災活動隊の編成と負傷者救出及びPCB漏洩確認と火災発生確認、⑤設備の安全点検確認、⑥用水、空調等の用役設備及び給排気設備の安全起動確認を行いました。

豊田市に訓練状況の確認と講評をいただきました。今後も定期的に非常訓練を実施します。



地震訓練の状況

連絡先

日本環境安全事業株式会社(JESCO)

(連絡先) 豊田事業所 0565-25-3110

【豊田事業HP】 <http://www.jesconet.co.jp/facility/toyota/index.html>